



猛暑の続く8月です。危険な暑さに注意が必要ですが、保育園では、子ども達は元気にプール遊び・水遊びを満喫しています。

夏休み中は、ご家族で過ごす時間をとって、楽しい思い出をたくさん作るよい機会です。元気に夏を乗り切るために、睡眠・栄養をしっかり取るようにしましょう！

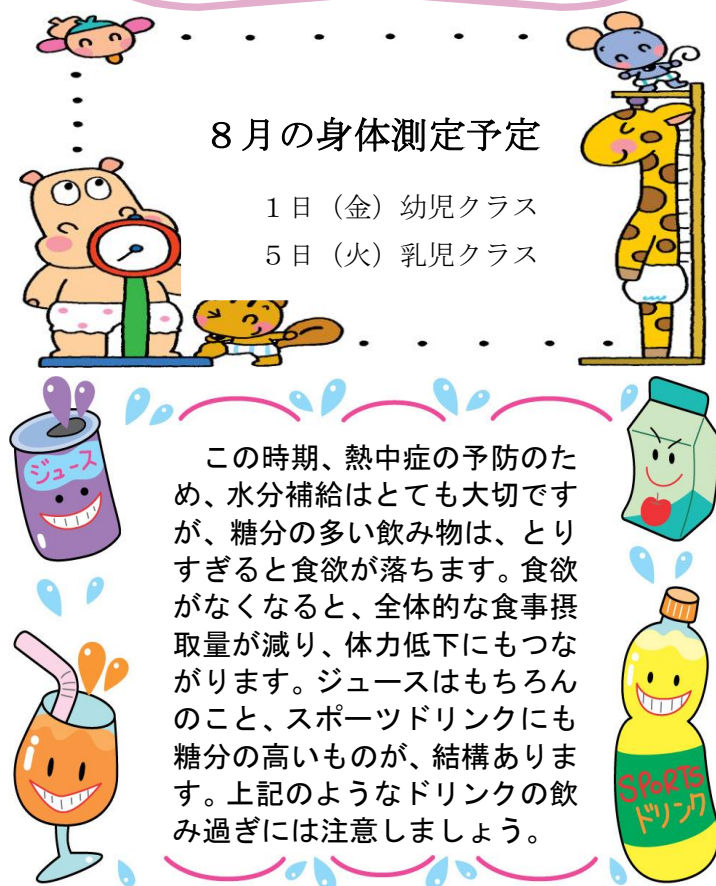
＜先月の感染症＞

(6月20日～7月20日)＞

溶連菌感染症	乳児1名	幼児6名
インフルエンザA型	乳児1名	
手足口病	乳児1名	
伝染性膿痂疹(とびひ)	乳児1名	
感染性胃腸炎	乳児2名	

8月の身体測定予定

- 1日(金) 幼児クラス
- 5日(火) 乳児クラス



この時期、熱中症の予防のため、水分補給はとても大切ですが、糖分の多い飲み物は、とりすぎると食欲が落ちます。食欲がなくなると、全体的な食事摂取量が減り、体力低下にもつながります。ジュースはもちろんのこと、スポーツドリンクにも糖分の高いものが、結構あります。上記のようなドリンクの飲み過ぎには注意しましょう。

おたよりを紙媒体で欲しい方は、事務所までお越しください。また、おたよりは園のホームページにも掲載しております。

＜「溶連菌感染症」が流行しました＞

先月は園内で幼児クラスを中心に「溶連菌感染症」が流行しました。

・・・「溶連菌感染症」とは・・・？

＜症状＞

発熱、喉の痛み、腫れ、化膿、リンパ節炎。舌が莓状に赤く腫れ、全身に鮮紅色の発疹が出る。抗菌薬で適切に治療すれば後遺症がなく治癒するが、治療が不十分な場合には、発症数週間後に、リウマチ熱、腎炎等を合併することがある。稀ではあるが、敗血症性ショックを示す劇症型もある。

＜感染経路＞

飛沫感染・接触感染

＜登園のめやす＞

抗菌薬の内服後 24～48 時間が経過していること

＜書類の提出＞

保護者の方が記入する「登園届」の提出が必要です。

＜～休日や夜間に具合が悪くなった時は・・・？＞

休日や夜間にお子様の体調が悪化した時は不安になるものです。そんな時は行政の機関を活用出来ます。必要な時は利用しましょう。

＜子供の健康相談室(小児救急相談)＞

東京都では、子供の健康・救急に関する相談に、看護師や保健師等が応じています。

- #8000 (プッシュ回線の固定電話、携帯電話)
- 03-5285-8898 (ダイヤル回線・IP 電話等すべての電話)

＜東京消防庁救急相談センター＞

- #7119 (プッシュ回線の固定電話、携帯電話)

24 時間年中無休

※急な病気や怪我をした際に、救急車を呼んだ方がいいのか、病院に行った方がいいのか、迷った時は「#7119」で相談出来ます。又、インターネットで病気や怪我の緊急度がチェックできる「東京版救急受診ガイド」も活用出来ます。